

令和3年度 むかわ町児童生徒における 全国学力・学習状況調査の結果（概況）

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象児童生徒

	むかわ町	北海道（公立）	全国（公立）
小学校第6学年	54	36,456	993,975
中学校第3学年	46	34,700	903,157

※札幌市を含む

3 調査の内容

- ①教科に関する調査（国語、算数・数学）
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

4 調査日時

令和3年5月27日（木）

5 概況の内容

- (1) 各教科の平均正答率の状況
- (2) 調査結果概況（教科別・問題別）の分析
- (3) 児童生徒質問紙における本町の特徴的な項目
- (4) 取組の状況と今後の取組

むかわ町教育委員会

11月

はじめに

令和3年度全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により2年ぶりの実施です。

平成30年度までは、国語と算数・数学において、それぞれA問題(主として知識等)とB問題(主として活用に関して)に分けて実施されていましたが、平成31年度(令和元年度)より、知識と活用を一体的に問う調査問題となったため、全国との比較は平成31年度(令和元年度)からとしています。

全国平均正答率との比較

	R1	R2	R3
小学校 国語			
全国	63.8		64.7
北海道	63		63
むかわ町	68		59
全国との差	4.2		▲5.7

	R1	R2	R3
小学校 算数			
全国	66.6		70.2
北海道	64		67
むかわ町	60		64
全国との差	▲6.6		▲6.2

【小学校の傾向】

- 令和元年度では国語が全国より高い結果でしたが、今年度は国語・算数ともに全国より5ポイント以上低い傾向です。
- 調査結果概況にあるように、「正答数の少ない」層の割合が全国の2倍近くになっていることが、本町の課題のひとつです。

	R1	R2	R3
中学校 国語			
全国	72.8		64.6
北海道	72		65
むかわ町	75		61
全国との差	2.2		▲3.6

	R1	R2	R3
中学校 数学			
全国	59.8		57.2
北海道	58		56
むかわ町	60		54
全国との差	0.2		▲3.2

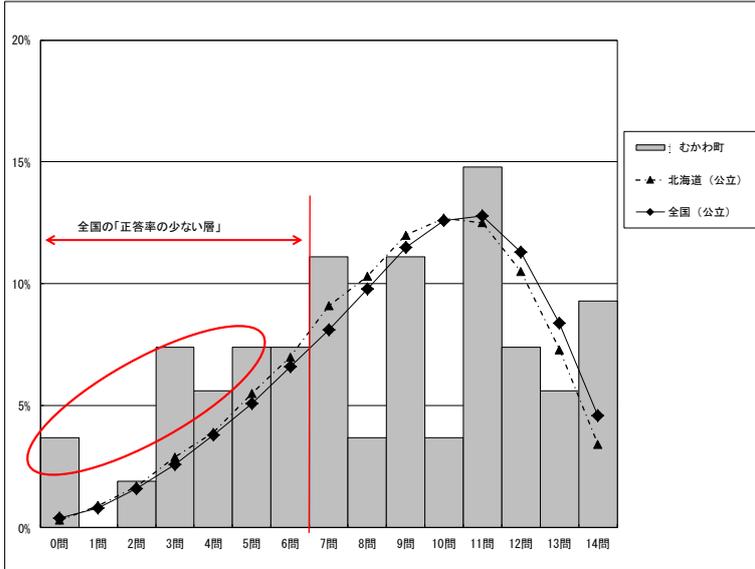
【中学校の傾向】

- 令和元年度では全国より高い結果でしたが、今年度は国語・数学ともに全国より3ポイント以上低い傾向です。
- 調査結果概況にあるように、「正答数の少ない層」の割合が全国と比べ、10ポイント近く多く、中学校でも課題のひとつです。ただ、中学校では、「正答数の多い層」にも大きな山があるのが特徴です。

以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
むかわ町教育委員会	54	8.3 / 14	59	9.0	3.8
北海道 (公立)	36,456	8.9 / 14	63	9.0	3.0
全国 (公立)	993,975	9.1 / 14	64.7	9.0	3.1

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値			
	児童数 貴教育 委員会	割合 (%)		
	貴教育 委員会	北海道 (公立)	全国 (公立)	
14問	5	9.3	3.4	4.6
13問	3	5.6	7.3	8.4
12問	4	7.4	10.5	11.3
11問	8	14.8	12.5	12.8
10問	2	3.7	12.7	12.6
9問	6	11.1	12.0	11.5
8問	2	3.7	10.3	9.8
7問	6	11.1	9.1	8.1
6問	4	7.4	7.0	6.6
5問	4	7.4	5.5	5.1
4問	3	5.6	3.9	3.8
3問	4	7.4	2.9	2.6
2問	1	1.9	1.7	1.6
1問	0	0.0	0.9	0.8
0問	2	3.7	0.3	0.4

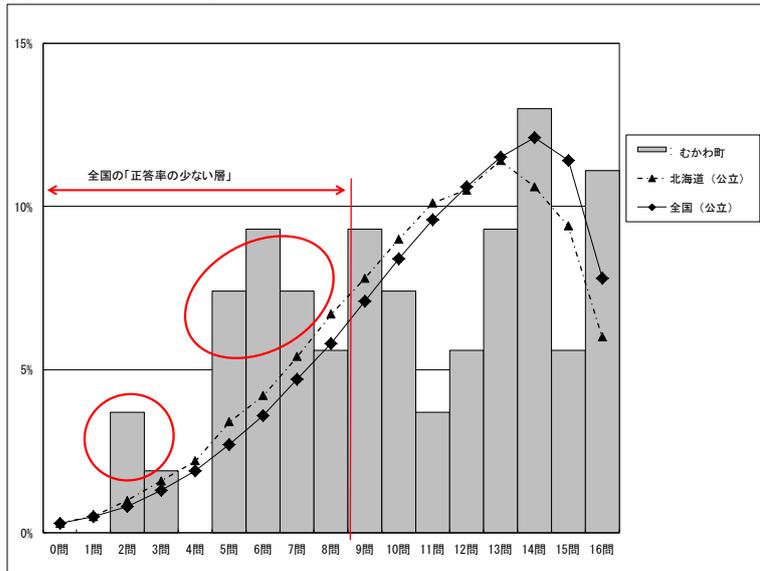
※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴教育 委員会	北海道 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問	9.0問
▽ 第1四分位	5.0問	7.0問	7.0問

以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
むかわ町教育委員会	54	10.3 / 16	64	10.0	4.0
北海道 (公立)	36,450	10.8 / 16	67	11.0	3.5
全国 (公立)	994,101	11.2 / 16	70.2	12.0	3.5

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値			
	児童数 貴教育 委員会	割合 (%)		
	貴教育 委員会	北海道 (公立)	全国 (公立)	
16問	6	11.1	6.0	7.8
15問	3	5.6	9.4	11.4
14問	7	13.0	10.6	12.1
13問	5	9.3	11.4	11.5
12問	3	5.6	10.5	10.6
11問	2	3.7	10.1	9.6
10問	4	7.4	9.0	8.4
9問	5	9.3	7.8	7.1
8問	3	5.6	6.7	5.8
7問	4	7.4	5.4	4.7
6問	5	9.3	4.2	3.6
5問	4	7.4	3.4	2.7
4問	0	0.0	2.2	1.9
3問	1	1.9	1.6	1.3
2問	2	3.7	1.0	0.8
1問	0	0.0	0.5	0.5
0問	0	0.0	0.3	0.3

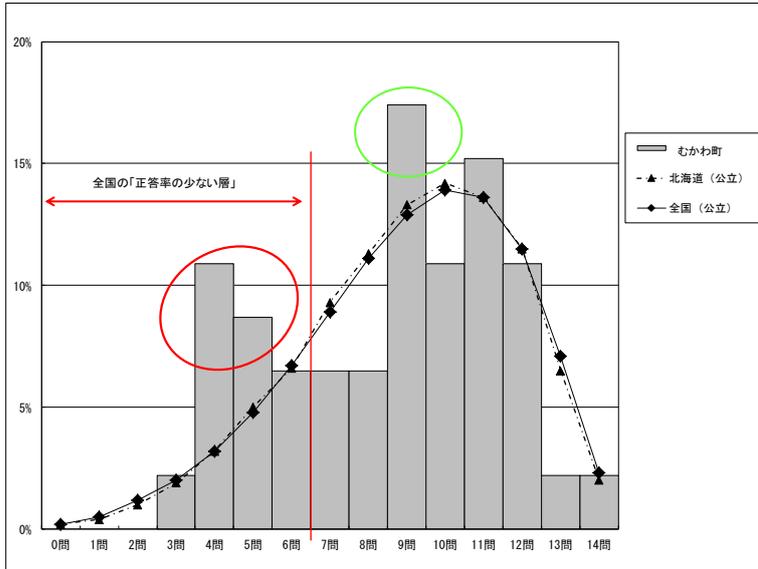
※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴教育 委員会	北海道 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	14.0問	14.0問	14.0問
◇ 第2四分位	10.0問	11.0問	12.0問
▽ 第1四分位	7.0問	8.0問	9.0問

・以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
むかわ町教育委員会	46	8.5 / 14	61	9.0	2.9
北海道 (公立)	34,700	9.0 / 14	65	9.0	2.7
全国 (公立)	903,157	9.0 / 14	64.6	9.0	2.8

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値			
	生徒数 貴教育委員会	割合 (%)		
	貴教育委員会	北海道 (公立)	全国 (公立)	
14問	1	2.2	2.0	2.3
13問	1	2.2	6.5	7.1
12問	5	10.9	11.5	11.5
11問	7	15.2	13.6	13.6
10問	5	10.9	14.2	13.9
9問	8	17.4	13.3	12.9
8問	3	6.5	11.3	11.1
7問	3	6.5	9.3	8.9
6問	3	6.5	6.6	6.7
5問	4	8.7	5.0	4.8
4問	5	10.9	3.2	3.2
3問	1	2.2	1.9	2.0
2問	0	0.0	1.0	1.2
1問	0	0.0	0.4	0.5
0問	0	0.0	0.2	0.2

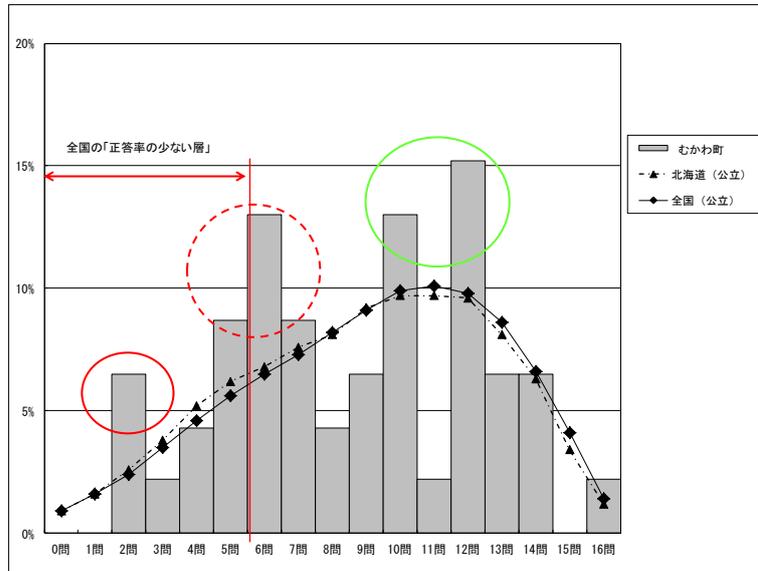
※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴教育委員会	北海道 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問	9.0問
▽ 第1四分位	6.0問	7.0問	7.0問

・以下の集計値／グラフは、5月27日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
むかわ町教育委員会	46	8.6 / 16	54	9.0	3.6
北海道 (公立)	34,689	8.9 / 16	56	9.0	3.7
全国 (公立)	903,253	9.1 / 16	57.2	10.0	3.7

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



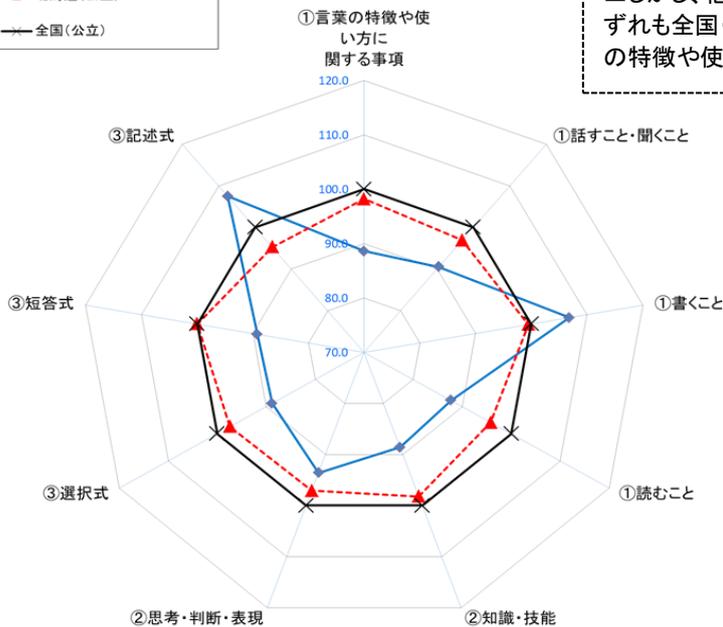
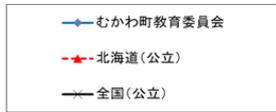
正答数	正答数集計値			
	生徒数 貴教育委員会	割合 (%)		
	貴教育委員会	北海道 (公立)	全国 (公立)	
16問	1	2.2	1.2	1.4
15問	0	0.0	3.4	4.1
14問	3	6.5	6.3	6.6
13問	3	6.5	8.1	8.6
12問	7	15.2	9.6	9.8
11問	1	2.2	9.7	10.1
10問	6	13.0	9.7	9.9
9問	3	6.5	9.2	9.1
8問	2	4.3	8.1	8.2
7問	4	8.7	7.6	7.3
6問	6	13.0	6.8	6.5
5問	4	8.7	6.2	5.6
4問	2	4.3	5.2	4.6
3問	1	2.2	3.8	3.5
2問	3	6.5	2.6	2.4
1問	0	0.0	1.6	1.6
0問	0	0.0	0.9	0.9

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴教育委員会	北海道 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問	10.0問
▽ 第1四分位	6.0問	6.0問	6.0問

教科の概況 ～レーダーチャート図～

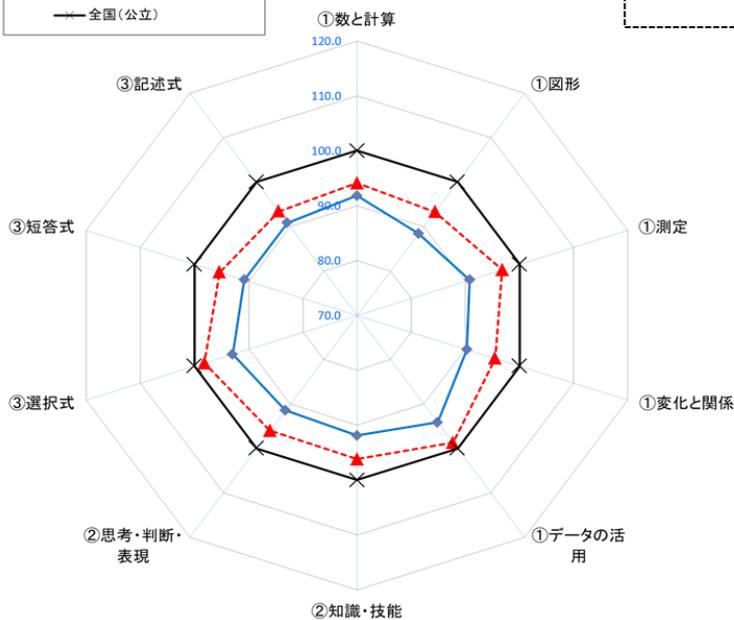
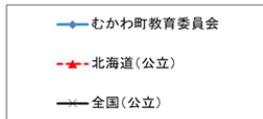
小学校 国語



傾向

○領域では「書くこと」、問題形式では「記述式」が全国より高い傾向です。
 ▲しかし、他の領域・評価の観点・問題形式ではいずれも全国・全道より低い傾向です。特に、「言葉の特徴や使いに関する事項」が低い傾向です。

小学校 算数



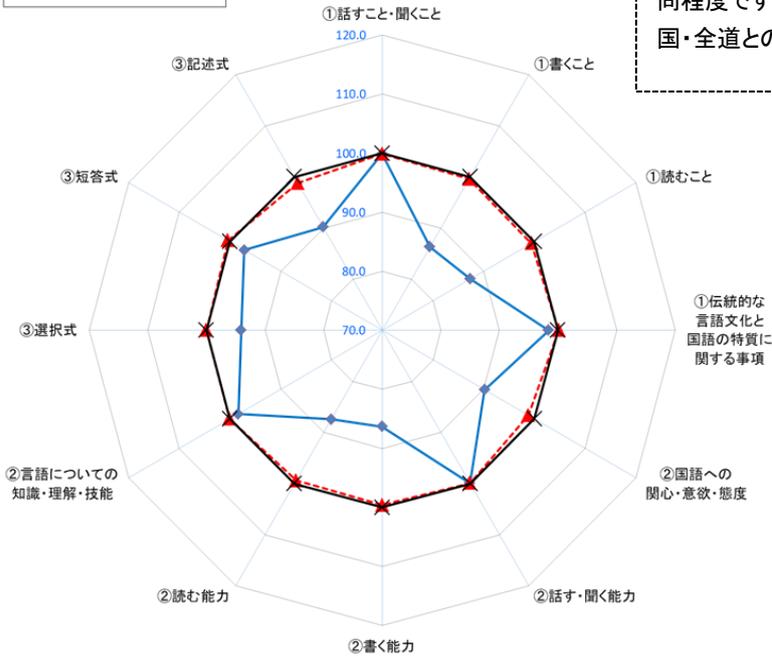
傾向

▲領域・評価の観点・問題形式の全般にわたり、全国・全道より低い傾向です。特に、「図形」領域が低い傾向です。

チャート図における分類
 ①学習指導要領の領域
 ②評価の観点
 ③問題形式

中学校 国語

—●— むかわ町教育委員会
-▲- 北海道(公立)
-×- 全国(公立)

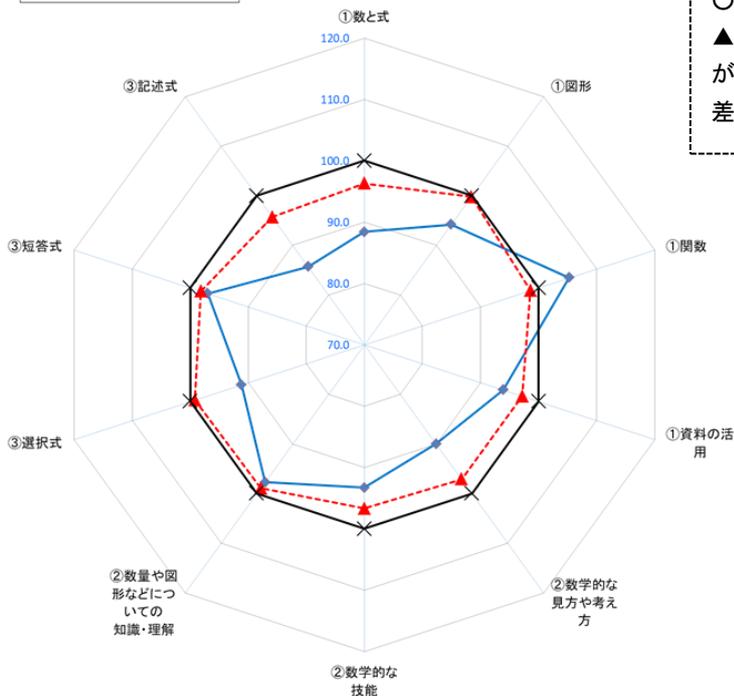


傾向

▲「話すこと・聞くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では全国・全道とほぼ同程度ですが、「書くこと」「読むこと」では、全国・全道との差が大きい傾向です。

中学校 数学

—●— むかわ町教育委員会
-▲- 北海道(公立)
-×- 全国(公立)



傾向

○「関数」が全国・全道より高い傾向です。
▲他の領域は低く、特に「数と式」が全国より差が大きく、問題形式では、「記述式」が全国との差が大きい傾向です。

チャート図における分類
 ①学習指導要領の領域
 ②評価の観点
 ③問題形式

正答率、無解答率における比較

小学校国語

	R1(本町)	※R1(北海道)	R3(本町)	※R3(北海道)
平均正答率が全国以上の問題数	11問／14問	1問／14問	2問／14問	3問／14問
無解答率が全国以下の問題数	10問／14問	9問／14問	13問／14問	11問／14問
無解答率が5%以上の問題数	5問／14問	8問／14問	3問／14問	5問／14問

小学校算数

	R1(本町)	※R1(北海道)	R3(本町)	※R3(北海道)
平均正答率が全国以上の問題数	4問／14問	1問／14問	1問／16問	1問／16問
無解答率が全国以下の問題数	13問／14問	5問／14問	8問／16問	4問／16問
無解答率が5%以上の問題数	2問／14問	2問／14問	3問／16問	3問／16問

【小学校の傾向】

○国語・算数ともに無解答率が少ない傾向です。

○問題別で見ると、国語では「2一：内容の中心となる事柄の把握」「2二：文章の中の『より』と同じ使い方」「3三（1）ウ：つみ重ね 漢字で書き直す」などが全国より10Pより低い傾向です。

○問題別で見ると、算数では「1（1）2つの道のりの差の求め方」「2（3）二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方」「4（1）除法の商と余りをもとに日常生活の事象を考える」などが全国より10Pより低い傾向です。

中学校国語

	R1(本町)	※R1(北海道)	R3(本町)	※R3(北海道)
平均正答率が全国以上の問題数	7問／10問	5問／10問	2問／14問	6問／14問
無解答率が全国以下の問題数	7問／10問	6問／10問	9問／14問	11問／14問
無解答率が5%以上の問題数	2問／10問	3問／10問	4問／14問	4問／14問

中学校数学

	R1(本町)	※R1(北海道)	R3(本町)	※R3(北海道)
平均正答率が全国以上の問題数	11問／16問	3問／16問	4問／16問	3問／16問
無解答率が全国以下の問題数	9問／16問	5問／16問	6問／16問	3問／16問
無解答率が5%以上の問題数	9問／16問	9問／16問	10問／16問	9問／16問

【中学校の傾向】

○国語における無解答率が全国以下の問題数は、全道に比べやや少ない傾向ですが、数学では無解答率が全国以下の問題数は全国より多い傾向です。

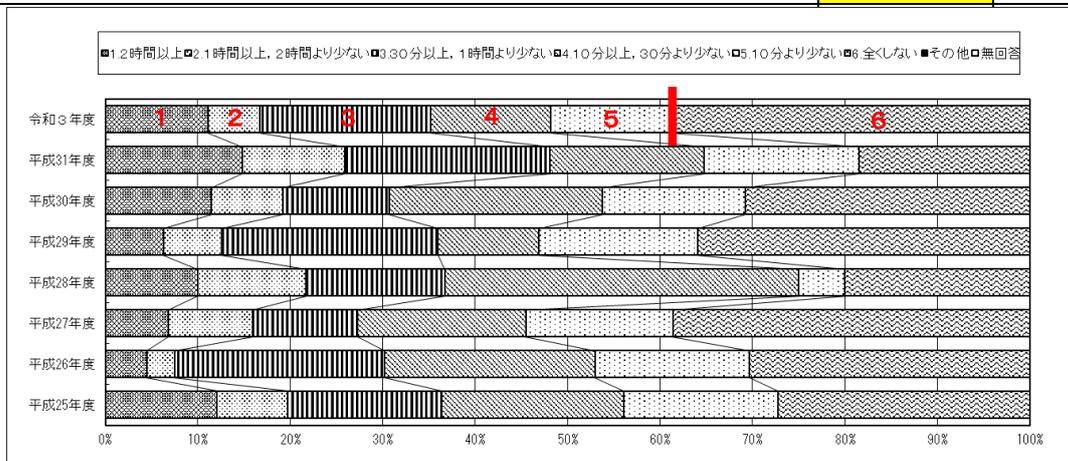
○問題別で見ると、国語は「2一：下書きを書き直した意図として適切なものを選択」「3四：文章中の見方・考え方を捉え、自分の考えをもつ」などが全国より10Pより低い傾向です。

○問題別で見ると、数学は「1：整式の加法・減法」「6（2）事柄が成り立つ理由を説明する」などが全国より10Pより低い傾向です。「7（1）表やグラフのよみとり」では正答率が100%でした。

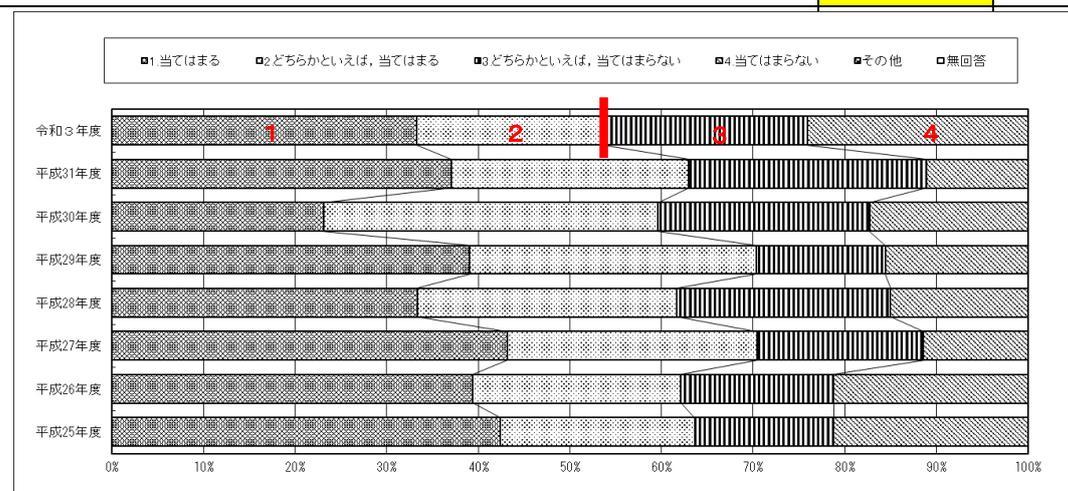
児童質問紙における本町の特徴的な事項（小学校）

番号	質問事項	全国と比べ	全国
1	朝食を毎日食べていますか → している、どちらかといえばしているの合計	全国とほぼ同様	94.9%
5	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	回答1と2（3時間以上）の合計は、全国より約10%多い	29.0%
<p>Legend for Question 5:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: 1.4時間以上 2: 2時間以上、4時間より少ない 3: 2時間以上、3時間より少ない 4: 1時間以上、2時間より少ない 5: 1時間より少ない 6: 全くしない その他 無回答 			
6	自分には、よいところがあると思いますか → 当てはまる、どちらかというと当てはまるの合計	全国よりやや少ない。	76.9%
17	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む） → よくしている ときどきしている の合計	回答1と2の合計は全国より約10%多い	74.0%
18	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） → 1時間以上	「1時間以上」では全国よりやや多い	62.5%
<p>Legend for Question 18:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: 1.3時間以上 2: 2時間以上、3時間より少ない 3: 1時間以上、2時間より少ない 4: 30分以上、1時間より少ない 5: 30分より少ない 6: 全くしない その他 無回答 			

番号	質問事項	全国と比べ	全国
19	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) → 全く読まない。	全国と比べ、約15%多い。過去と比べても「全く読まない」の回答は多い。	24.0%



43	国語の勉強は好きですか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	全国よりやや少ない	58.7%
52	算数の勉強は好きですか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	全国より約14%少ない	67.8%



45	国語の授業の内容はよく分かりますか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	全国とほぼ同様。	84.2%
54	算数の授業の内容はよく分かりますか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	全国とほぼ同様。	84.6%

【児童質問紙から顕著な傾向】

▲平日、1日当たりのテレビゲーム(PCゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマホを使ったゲームも含む)の時間では、「3時間以上」の回答が約40%と、全国よりも10%多く、本町の過去の回答と比べても最も多くなっています。

○家庭学習では、「1時間以上」の回答が約70%と全国よりやや多く、本町の過去と比べても最も多くなっています。また、計画を立てて取り組んでいる回答も高く、家庭学習の取組の充実が図られている傾向です。

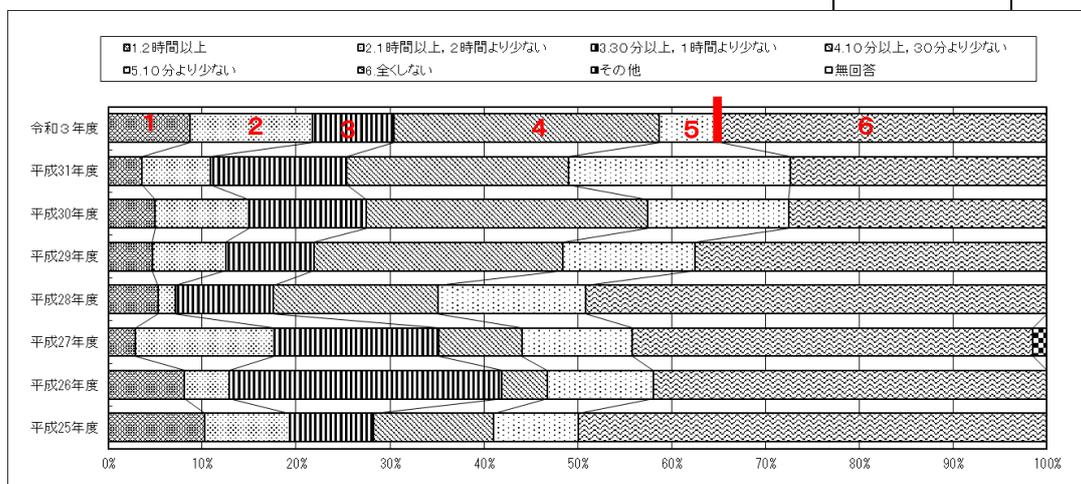
▲読書では、「全くしない」の回答が約40%と、全国よりも約15%多くなっています。

○国語科と算数科において、「授業の内容がよく分かる」については全国とほぼ同様の傾向ですが、「勉強が好きです」との回答が全国より少ない傾向になっています。

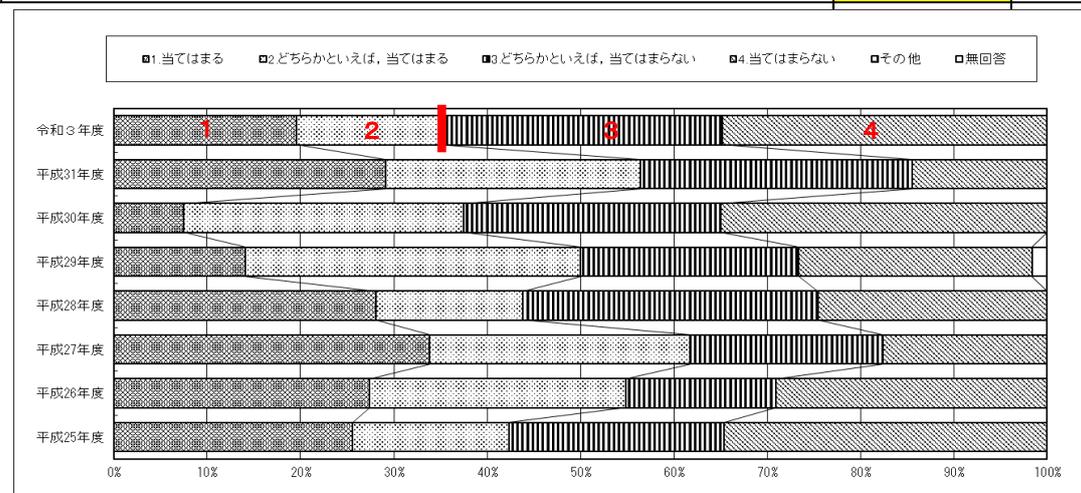
生徒質問紙における本町の特徴的な事項（中学校）

番号	質問事項	全国と比べ	全国
1	朝食を毎日食べていますか → している、どちらかといえばしているの合計	全国より15%近く少ない	92.8%
5	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	回答1と2（3時間以上）の合計は、全国より約20%多い。過去と比べても、とても多くなっている。	32.3%
<p>Legend for Question 5:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: 3時間以上 2: 3時間以上、4時間より少ない 3: 2時間以上、3時間より少ない 4: 1時間以上、2時間より少ない 5: 1時間より少ない 6: 全くしない その他 無回答 			
6	自分には、よいところがあると思いますか → 当てはまる、どちらかという当てはまるの合計	全国とほぼ同様	76.2%
17	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む） → よくしている ときどきしている の合計	全国とほぼ同様	63.5%
18	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） → 1時間以上	回答1～3（1時間以上）では、全国とほぼ同様	75.9%
	→ 2時間以上	回答1と2の合計（2時間以上）では、20%以上少ない。	41.8%
<p>Legend for Question 18:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: 3時間以上 2: 2時間以上、3時間より少ない 3: 1時間以上、2時間より少ない 4: 30分以上、1時間より少ない 5: 30分より少ない 6: 全くしない その他 無回答 			

番号	質問事項	全国と比べ	全国
21	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) → 全くしない。	回答6(全くしない)では、全国とほぼ同様	37.4%



43	国語の勉強は好きですか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	全国より約10%多い	60.8%
52	数学の勉強は好きですか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	全国より25%近く少ない	59.1%



45	国語の授業の内容はよく分かりますか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	全国より10%以上多い	80.1%
54	数学の授業の内容はよく分かりますか → 当てはまる、どちらかという当てはまる	全国よりやや少ない	74.6%

【生徒質問紙から顕著な傾向】

▲平日、1日当たりのテレビゲーム(PCゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマホを使ったゲームも含む)の時間では、「3時間以上」の回答が50%以上と多く、本町の過去の回答と比べても最も多くなっています。

○家庭学習では、「2時間以上」の回答は全国の半分の割合ですが、「1時間以上」では約80%と多く、家庭学習の定着が図られてきている傾向です。

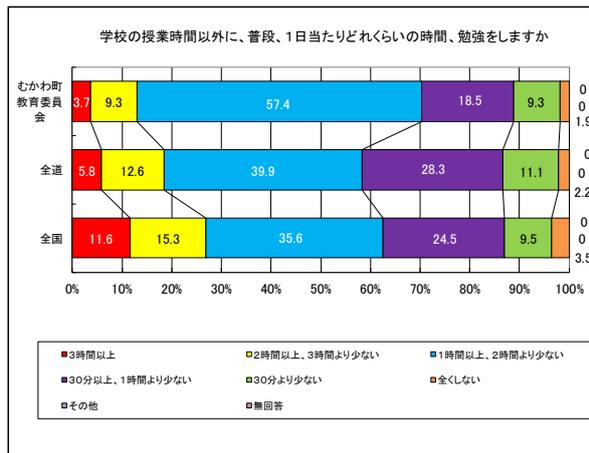
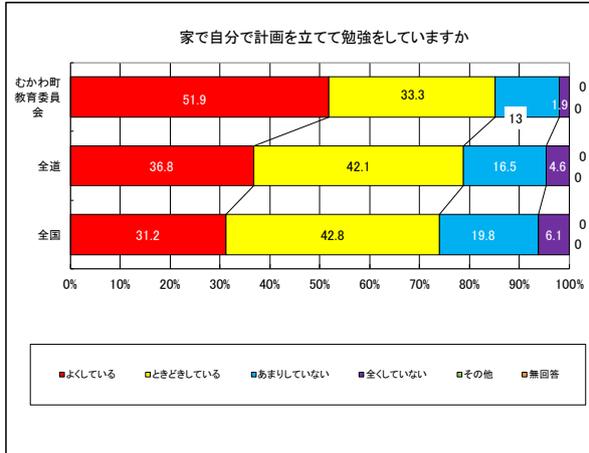
▲読書では、「全くしない」の回答が約35%と、全国とほぼ同様の傾向です。

○「国語が好き」の回答は約70%であり、「数学が好き」は約35%と少ない傾向です。

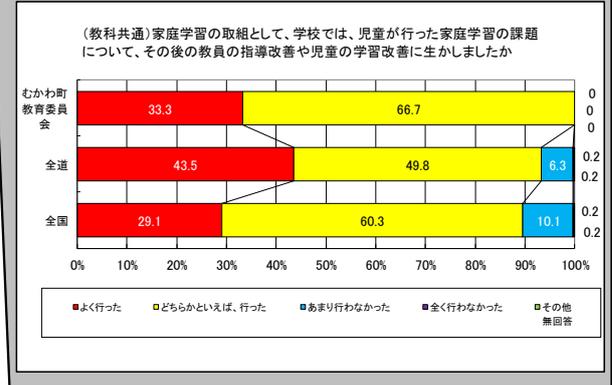
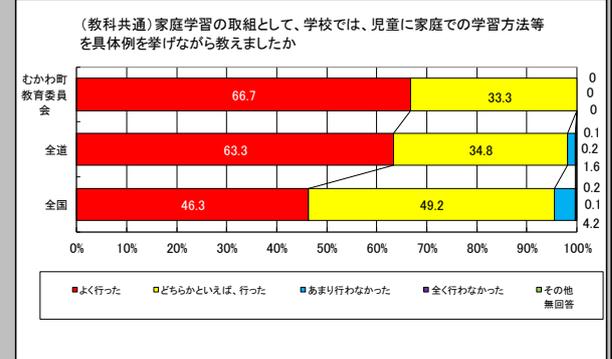
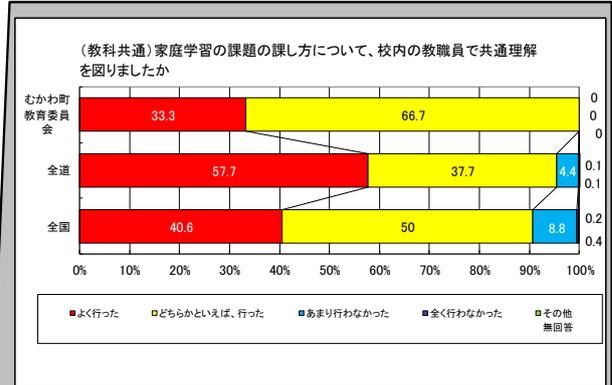
児童生徒質問紙と学校質問紙の関連（小学校）

【家庭学習】

<児童質問紙>



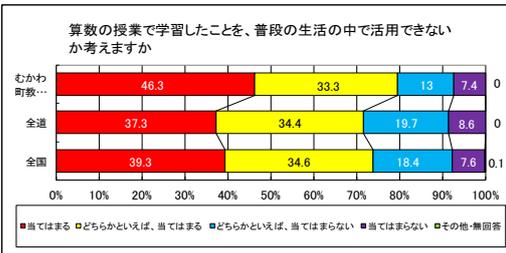
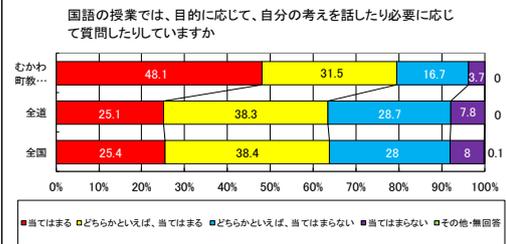
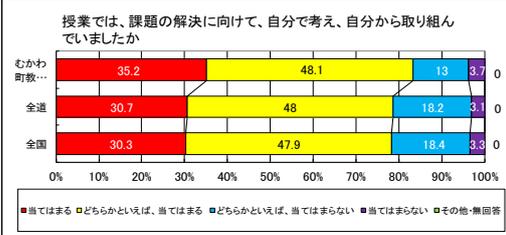
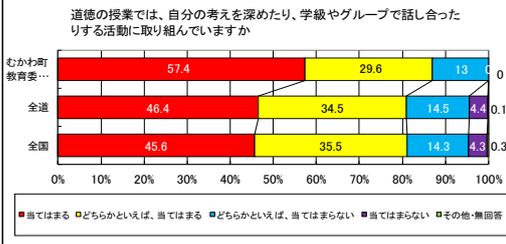
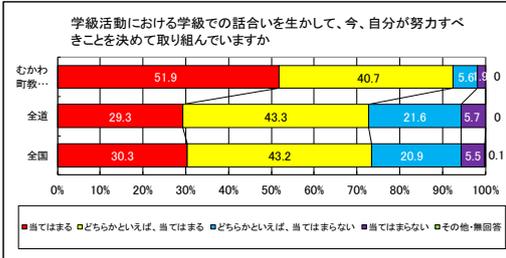
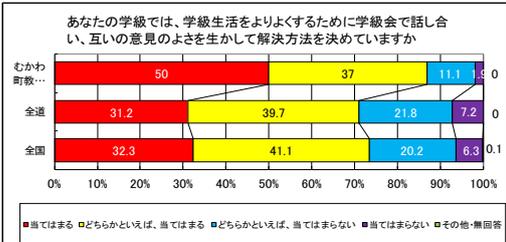
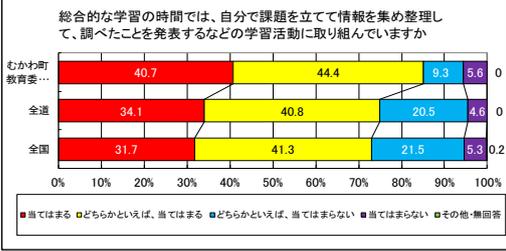
<学校質問紙>



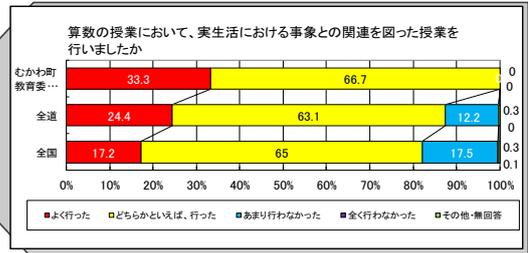
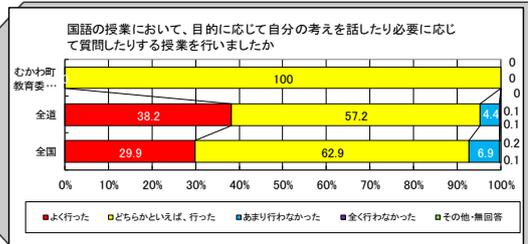
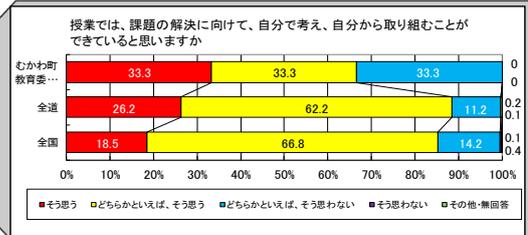
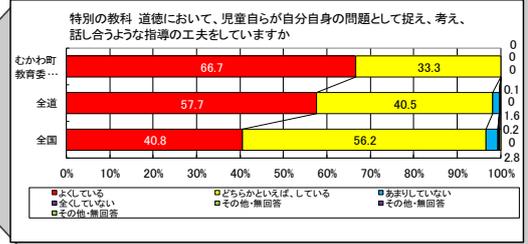
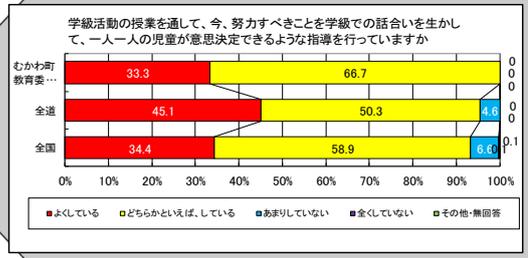
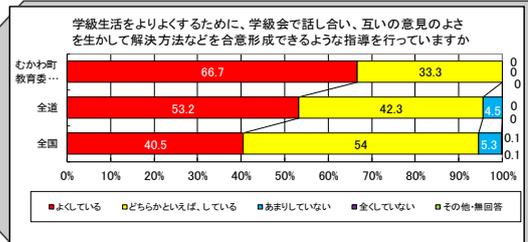
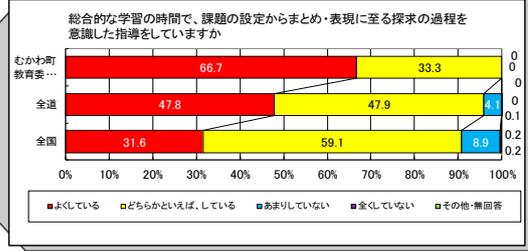
○家庭学習については、児童質問紙で「自分で計画を立てて」の質問に「よくしている」と回答した割合が50%以上、「1日当たり1時間以上勉強している」と回答した割合が7割以上と高くなっています。これは、「家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた」などの学校での取組の工夫が要因のひとつと考えられます。

○学習指導等については、「総合的な学習の時間における学習活動の取組」から「算数の授業で学習したことを日常に活用しようとする」と考えるまでの項目で「当てはまる」と回答した割合がいずれも全国・全道より高くなっています。これは、学校において意欲化を図ったり意識を高めたりするなどの指導の工夫が要因のひとつと考えられます。

<児童質問紙>



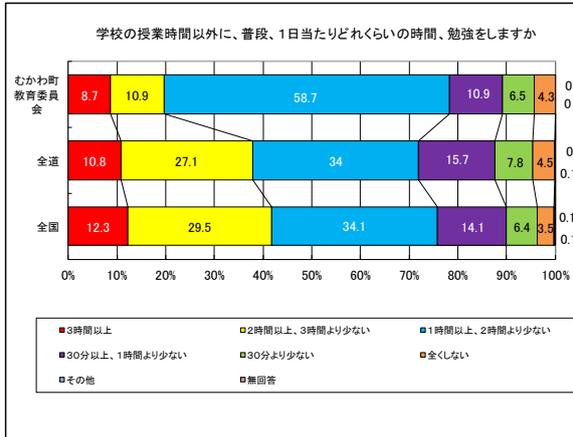
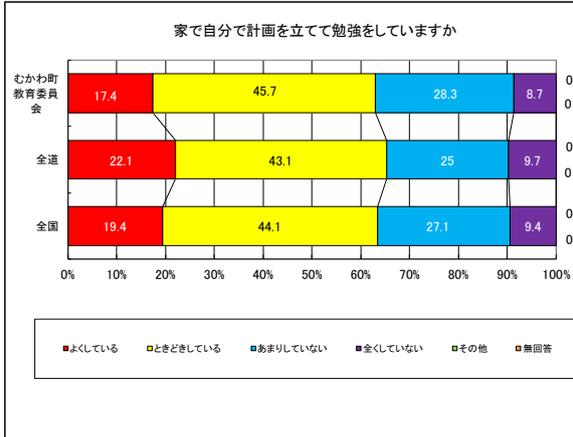
<学校質問紙>



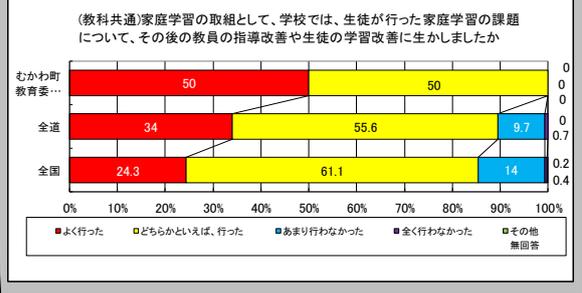
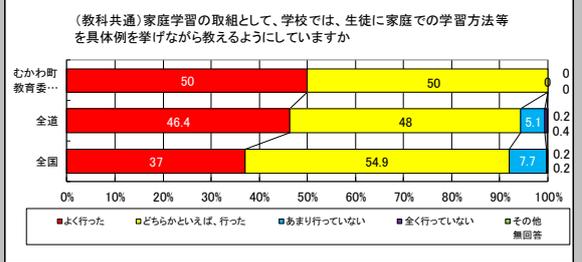
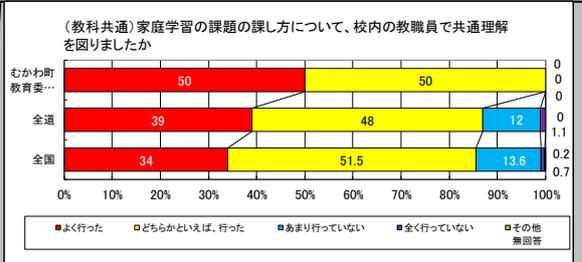
児童生徒質問紙と学校質問紙の関連（中学校）

【家庭学習】

<生徒質問紙>

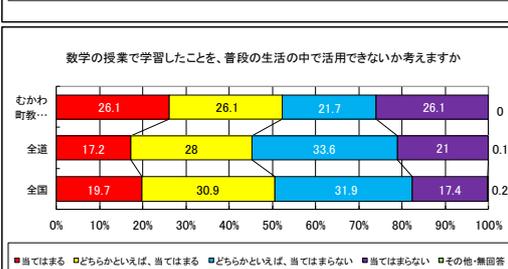
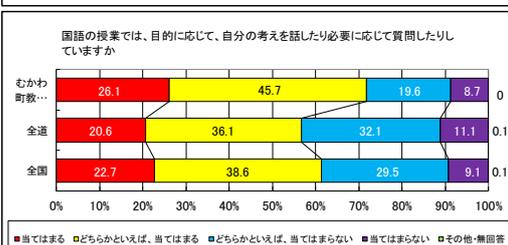
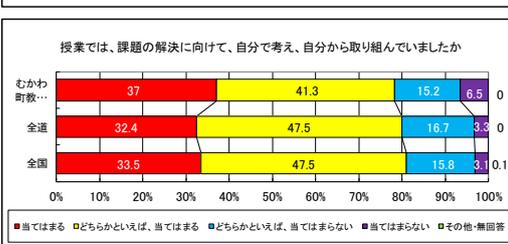
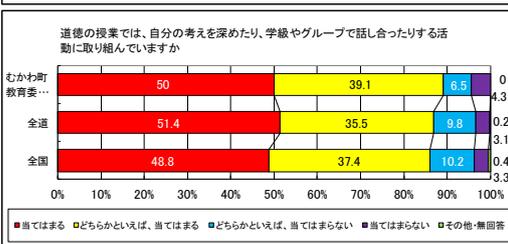
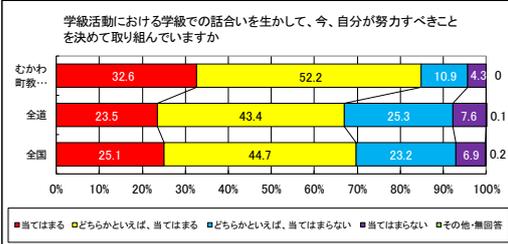
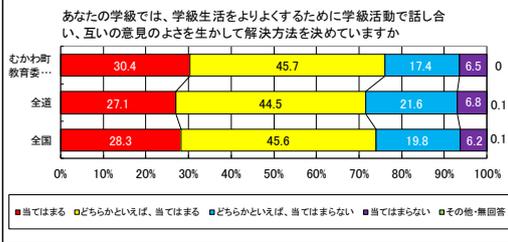
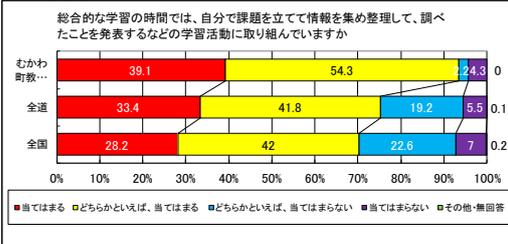


<学校質問紙>

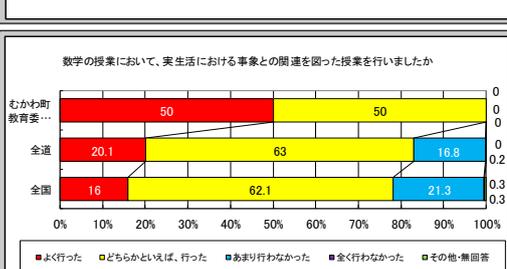
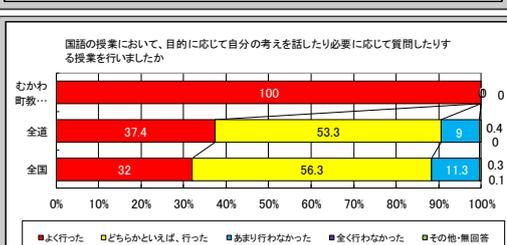
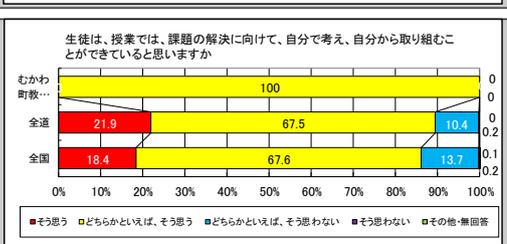
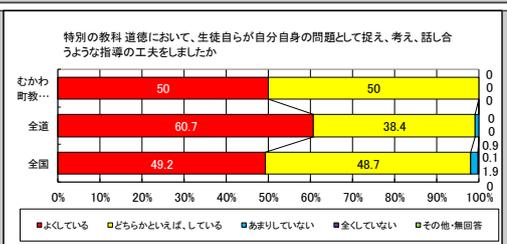
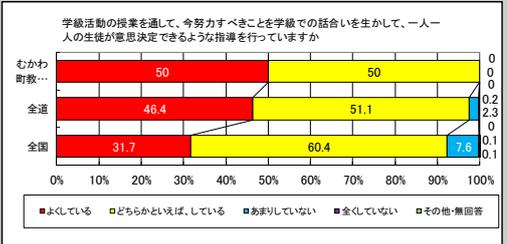
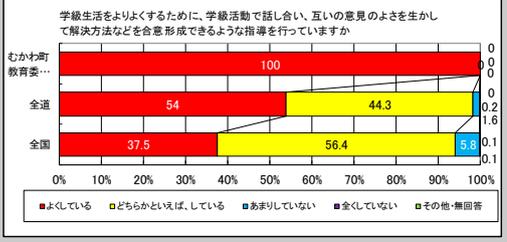
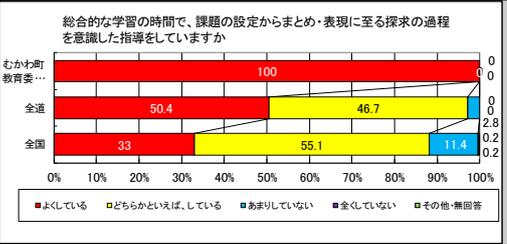


- 生徒質問紙において、「学校の授業以外に、1日当たりの勉強時間」の質問に「2時間以上」の割合は少ない傾向ですが、「1時間以上」と回答した割合は80%近くであり全国・全道より高くなっています。これは、学校において、「家庭学習の課題について、校内で共通理解を図る」、「家庭での学習方法を具体例を挙げながら教える」などの取組の工夫が要因のひとつと考えられます。
- 学習指導等については、「総合的な学習の時間における学習活動の取組」から「数学の授業で学習したことを日常に活用しようとする」までの項目で「当てはまる」と回答した割合がいずれも全国より高くなっています。これは、学校において意欲化を図ったり意識を高めたりするなどの指導の工夫が要因のひとつと考えられます。

＜生徒質問紙＞



＜学校質問紙＞



むかわ町の学力向上の取組について

(1) 現在までの取組

むかわ町の取組の特徴は、学校と教育委員会が連携し、次の3つのベクトルから学力向上を図っていることです。

授業改善を中心とした「校内方向のベクトル」

小中連携を中心とした「縦方向のベクトル」

家庭・地域との連携を中心とした「横方向のベクトル」

具体的には、

ア 各学校における学校の実態に応じた学力向上策

※学力向上対策協議会等で情報交流

イ むかわ町教育改善検討委員会を組織

事務局：教職員研修会 道外視察

学力向上対策関連：学力調査・CRTの考察 学力向上策交流

ステップアップ関連：学習生活規律 小中授業交流

乗り入れ授業・相互参観

家庭学習支援関連：家庭学習に関する手立ての交流 啓発資料

ウ 「家庭学習の手引き」の作成・配布

エ 生活実態アンケートの実施と分析・考察（分析結果を全家庭配布）

オ 9年間見通した学習生活規律の確立

カ 標準学力検査（CRT）の実施と分析による指導方法の改善

キ 全国学力・学習状況調査および標準学力検査の結果にかかわる分析と公表

ク よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート「hyper-QU」の実施

ケ 学習支援員等の配置による学習指導の充実への支援

コ 通学合宿等を実施し、学習意欲の向上と理解力を高める学びの環境整備

(2) 今後の取組

今年度は全国との差がやや開きましたが、3つのベクトル（内・縦・横）から学力向上を図る本町の特徴を、学校・家庭・地域・教育委員会が連携しながら進めてきていることで、平成27年度頃からは、成果が少しずつ出てきています。今後も、適時検討を行い見直し・修正を加えながら、今までの取組を充実していくことが重要と考えます。

また、学校と家庭・地域との連携はますます重要で、規則正しい生活習慣・学習習慣の定着のため、適切な情報発信による啓発活動に取り組んだり、コミュニティ・スクールにおける学校運営協議会とのかかわりを大切にしたりしていきます。加えて、ICTの積極的な活用により個別最適な学びの充実が図られるよう取り組みます。